



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
チャーター認証日 1989年5月 2日  
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO  
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00  
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)  
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

## 2015年4月号ブリテン 第299号

### 2014-2015年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right  
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
「言葉より行動を—今すぐやろう！」(インド)  
「未来を始めよう、今すぐに」 (西日本区)  
「誇りと喜びを持って」 (東京クラブ)  
「スピードをもって前に進もう」 (富士五湖)  
「大きく強く」—再度挑戦

会長 長津 徹  
副会長 大谷 博 愛  
書記 深田 恭 司  
会計 柴田 弘 子  
直前会長 小山 憲 彦  
担当主事 岡田 ナスカ

Our Motto 国際標語  
国際会長 Isaac Palathinkal  
アジア会長 岡野 泰 和  
東日本区理事 田中 博 之  
あずさ部部長 望月 勉  
サンライズ会長 長津 徹

### 山中ワーク&4月第一例会のお知らせ

と き 4月18日(土)~19日(日)  
と ころ 東京YMCA 山中湖センター  
か い ひ 8,000円(予定)  
とうばん (弐細)柴田、江原、小山(憲)、島田、立田、深田(恭)

#### ◆プログラム

山中ワーク(I) 13:00~17:00

第一例会(富士五湖クラブ合同) 17:30~

開会点鐘 会長  
ワイズソング・ワイズの信条 一同  
ハッピーバースデー 会長  
協議・報告・連絡事項 会長・各担当  
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員  
閉会点鐘 会長

懇親夕食会 18:00~

山中ワーク(II) 9:00~12:00

#### 4月以降の予告

4月25日(土)~26日(日) 東広島20周年記念会 13:00~  
5月 9日(土) あずさ部評議会 甲府市 13:00~  
5月 9日(土) 甲府クラブ65周年 岡島ローヤル 16:00~  
5月14日(木) 第一例会 山手センター 19:00~  
5月23日(土) 第二例会 山手センター 16:00~

### 3月第一例会報告

菟淵光彦

3月12日(木)19時に東京YMCA山手センターにおいて、小山(久)メンの司会で第一例会は始まりました。長津会長による開会点鐘のあと、出席者全員でワイズソング斉唱とワイズの信条の唱和が行われ、ひきつづきゲストスピーカー、公益財団法人かめのり財団の理事長西田浩子さんの紹介がありました。卓話のタイトルは「グローバル時代における留学事情—留学生を支え続けて—」と題して、日本の留学事情のお話です。以前、島田メンの紹介で第一例会に一度ご参加いただいたこともあり、そののち西田さんからお話をうかがえることを、首を長くして待ち望んでいた例会卓話が実現いたしました。

まずパワー・ポイントを利用して写真や図表を映写しながら、かめのり財団の目的は、日本とアジア・オセアニアの友好関係と相互理解を推進するという、アジアに行く生徒たちの【次頁へ続く】



### 4月のハッピーバースデー

今月は該当者がありません

### ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう  
青少年のためにYMCAに尽くそう  
世界的視野を持って国際親善を計ろう  
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう  
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### 3月例会出席者

在籍 20名  
メン (Make up 1名) 11名  
メネット・コメット 1名  
ゲスト・ビジター 5名  
出席率 55%

交換留学の支援と奨学事業の国際交流事業、それを支える基盤支援、高校生の交換留学あるいは大学院の皆さんに奨学金を出していることだとお話になりました。つづいて、かめのり賞というアワードを創設して、アジア・オセアニア地域で国際協力や国際交流などに尽力されている個人や団体に毎年10団体への表彰を本部で行っていること、そしてYMCAとの関係としては、サンライズクラブの島田さん(日本YMCA総主事)に大学院生を選考するとき、選考委員をしていただいた関係で、東日本大震災募金管理委員会において委員をしていただいていること、さらに島田総主事には青少年育成フォーラムにも理事として参加いただき、そこでは子供達が社会の中で生きてゆくにあたり、どういう風なスキルを身につけたら良いかというプログラムをおこなっているそうです。

西田さんは、早稲田大学を卒業後、南オーストラリアでの日本語を教えるプログラムに参加して、それをキッカケに留学事業との関わり合いを持ち、その後かめのり財団に入ってから現在に至るまでの自己紹介がありました。

日本の留学生に関して状況をグラフを参考にされながら、日本人の若者は内向きになっていると世の中では言われているので、国際的にはどうなっているかをグラフに表して、中国、アメリカ、インド、韓国、日本の留学生数の推移を比較してみると、日本以外はすべて増加傾向にあるものの、日本だけがどんどん減っていること、その中で北米の留学生は白人の生徒が少なくアジア系が多く、中国やインドの留学生が圧倒的に増加して目立っていること、日本は少子化と言う事もあり減少傾向にあるのが現実だと、お話されました。

一方で日本企業が世界各地に進出していく必要性から、グローバル人材の育成という事が言われており、海外で活躍する人材の確保が叫ばれていますが、大学生の現在の留学生の総数は約6万人で、そのうち1/3にあたる約2万人の留学生が中国に行っているという状況だそうです。この原因は、大学生の3年次における就職活動への妨げ、大学にも学費を払い留学先へもダブルで支払うことでの経済的負担、留学生希望を受け入れるシステムと家族への説得の困難にあると言えるようです。「留学したくない」という高校生大学生が増えている中で、その理由を聞くと「会話の壁があるから」と云う阻害要因が多く、「留学したい」と答えた学生さん達のその理由は「語学力を向上したいから」、この辺りに日本人留学生のジレンマがあるとのことでした。「日本は居心地が良いから、海外なんか行かなくても良い」「海外なんかめんどくさい」「日本でコンビニ行けば何でも買える。日本語話していれば良い」などが、別の意味での大きな要因だと考えられます。

つづいて、外国人大学生の現況は、「中国からの留学生が総勢の50%を占めていて、次いでベトナムからが多く、次いで韓国、ネパール、台湾、インドネシア、マレーシアとつづいています。大学・大学院などの高等教育機関と日本語学校を代表とする日本語教育機関に分けられるが、後者教育機関が増えている状況は、ベトナムやネパールからの留学生の増加に伴っているからです。これも、ベトナムへのODAや企業の進出の影響を与えています。つづいて、文部科学省の日本再興戦略によって、グローバル化に伴う人材力の確保を政府は考えており、数値目標として2010~2020年の間に留学生を6万~12万人へと倍増するという計画と、一方外国人留学生も2012年14万人を2020年に30万人にするというものです。日本再興産業プランで女性や高齢者、

外国人労働者の活用について中小企業や医療現場に於いて活動してもらう事など様々なプログラムのお話や、配布されたニュースレターにより、留学生募集のプロセスと研修会の様子などをうかがいました。

つづいて質疑が行われ、島田メンの質問に対して、グローバル人材を育てる上で大切なことは「不便な環境に置かれること」と「苦勞することで後々それが生きてくること」の2点が大切であることを強調されました。そして西田さんは同行されて例会に出席された松本さんに話を振って、松本さんはノルウェイのオスロにおける留学体験と帰国後留学支援の活動などのお話をされました。

結論は「前向きなチャレンジ精神が大切なのだ。」というキーワードで締めくりました。



ティスティングタイムに引き続いてハッピーバースデーが行われました。長津会長、深田(恭)メン、司会の小山(久)メンの3名の誕生日をハッピーバースデーを歌い祝いました。

にこにこ1分間スピーチの後、会長による閉会点鐘で3月の第一例会は終了いたしました。

その後伊丹亭に移動して「本音で語ろう会」はこぢんまりとしたなかで、じっくりと行われました。

出席者：長津会長・絹子メネット、江原、小山(憲)、小山(久)、菺渕、柴田、島田、菅原、立田、御園生、

ゲスト：西田さん、松本さん(島田)、渡辺さん(長津)

## 東京サンライズクラブのお散歩例会に参加して

小原史奈子さん(東京たんぼぼ)

以前よりお誘いを受けていたサンライズさんのお散歩例会。今回は東武鉄道のスペースシアに乗って現地集合！蔵の街、栃木散歩と聞いて、石原 直さんと参加させて頂きました。

3月21日(土)は、お天気も良くお散歩日和。ピンク色の河津桜が咲き、足元の菜の花を眺めて春らしい河辺の風景になごんだり、白壁の土蔵が続く巴波川(ウズマガワ)沿いでレトロな遊覧船に乗るお客さんに手を振り合ってノスタルジックな気分を分かち合ったり、のんびりしたひと時を過ごすことができました。

お散歩の打ち上げは池袋の中華料理店でスパイシーな四川料理を頂きながら、楽しいおしゃべりで盛り上がりしました。

おいしくて楽しい一日をありがとうございました。また参加させてください。

参加者：長津会長、小山(憲)、小山(久)、菺渕、柴田、立田、小原さん(東京たんぼぼ)、石原さん

## 桜はいつ咲くの

大谷博愛

桜の花咲く入学式が常識なのは、東京以南のことです。桜の名所の一つである弘前公園はゴールデンウィークが桜の見ごろです。私が生まれ育った札幌は5月2週目あたりが花見シーズンです。ですから、札幌の小中学校で新年度になって初めて行う5月の遠足を、花見遠足とっておりました。

小学校の国語の教科書で最初のページに出てくる入学式など新年度の行事を扱った項目の記述もさし絵も必ずといっていいほど桜満開の校庭です。教科書検定の仕組みはよく分かりませんが、私たちが使った北海道の教科書も全国一律だったので同様でした。

ところが、4月最初の北海道はまだ融けきれない雪が斑に残る大地からフクジュソウの芽が出て来たところです。この時期の北国の人には長い間根雪に埋もれていた大地が顔を出し始め、厳しい冬が過ぎ去って春の明るい陽射しが戻ってきたことを心から喜びます。子供たちは乾いた土を求めてビー玉やパッチ(面子のこと)に明け暮れました。桜なんてほど遠い時期で、まさに「春は名のみ風の寒さや・・・」です。私の中学校の入学式が吹雪だったことを今でも覚えています。

小学校の頃はまだ子供ですから、この教科書と現実のズレに違和感を覚えました。季節を、本州ではね、と読み替えて理解しなければならぬことに疑問を持っていました。カラッと晴れてライラックの花が咲く爽やかな6月も、梅雨でジメジメしている季節ですとテストでは答えなければ○をもらえないわけです。直視の鋭い子供にとっては、混乱以外の何物でもありません。

こういうのを教育の中央集権というのでしょうか。現在の教育システムがどうなっているのか分かりませんが、教育において、画一が優先されるべきか、実際に経験している地域性を重視すべきかは考えなければならない大きな問題です。少なくとも私は教科書と現実のギャップに違和感を覚え、教科書で教えるのは実体から離れた仮想の世界だという認識を持っていました。

## 東新部フレッシュワイズセミナー

水戸朱美

2月7日(土)、山手センターにて東新部主催、東日本区LT委員会後援のフレッシュワイズ(入会3年以内)対象セミナーに参加いたしました。セミナー受講のフレッシュワイズは、2014年度に入会の6名(東新部4名、あずさ部2名)でした。

講師は、田中博之東日本区理事、戸坂昇子東京YMCA会員部主事のお二方でした。それぞれ「ワイズメンズクラブとは」、「YMCA会員とは」のテーマで卓話いただきました。その後フリートークの時間で参加者全員の意見交換がありました。

また、「クラブ運営マニュアルワイズQ&A」、「ワイズメンズクラブについて」、「東日本区2014-2015年度後期現勢」等、フレッシュワイズメンのリーダーシップ・トレーニングに大変役立つ資料をいただきました。ワイズメンズクラブへの理解を深めることができて、また、東新部の方々と身近に接してお話を聞けてたいへん有意義なセミナーでした。

フリートークでは、「東京サンライズは会員が増えていますが、その要因は何ですか?」という嬉しい難しい質問の答えを求められ大いに困りました。

## 東日本区ニュース 第10号

2015年4月1日発行

東日本区理事 田中博之

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

\*\*\*\*\*

## ご近所のクラブでは

交流委員会

あずさ部では部内交流に力を入れております。隣のクラブをのぞいて見ることでワイズの輪が広がり、ワイズの和も深まります。ぜひ他クラブ訪問を実行してみてください。

- ◇ 4月 5日(土) 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇ 4月 7日(火)19:00~ 甲府21クラブ
- ◇ 4月 7日(火)20:00~ 富士五湖クラブ
- ◇ 4月11日(土)18:00~ 東京八王子クラブ
- ◇ 4月11日(土)18:30~ 松本クラブ
- ◇ 4月14日(火)18:30~ 東京たんぼぼクラブ
- ◇ 4月14日(火)18:45~ 甲府クラブ
- ◇ 4月15日(水)18:30~ 長野クラブ
- ◇ 4月16日(木)18:30~ 東京西クラブ/山手センター
- ◇ 4月21日(火)18:30~ 東京山手クラブ
- ◆ 4月25日(土)9:00~ 富士五湖・フライイングディスク大会(富士吉田パインズパーク)

## 次期クラブ会長・部役員研修会

長津 徹

3月7日朝早くに御園生さんの車に便乗して開通したばかりの圏央道を経由して会場の御殿場東山荘へ。私は出席義務のないオブザーバーとしての参加ですが、去年は仕事のため不参加だったことと大谷次期会長の代理の意味もあり参加しました。なぜか次期からLT委員を拝命することとなってしまいました。(実際は4月1日からになりました)LT委員会は区理事が主催する各種役員研修会を運営する為の組織で、企画立案から資料の作成・会場設置、懇親会のホストなど雑用の多いしかも知識の必要な難しい役割を担っています。なので最低会長経験者で構成されています。現委員長は東京コスモスクラブの伊藤幾夫さん。偶然東京サンライズからは委員として小山久恵、御園生好子、区事務所員小山憲彦、私を入れて4名も参加しています。

集合時間に1時間以上余裕を持って東山荘に到着し、最初に出会ったのが日本区時代の元理事・京都キャピタルクラブの岡本尚男さん、今回基調講演の講師です。12時の登録受付開始まで2時間あまり各役割分担で準備します。私もPA・照明・プロジェクター設置などを担いました。

13時から2階の講堂で開会式、研修の最初は田中区理事による東日本区の現況、田尻連絡主事のYMCA理解と支援報告、渡辺次期理事の次期理事方針と続きます。休憩を挟んで岡本さんの基調講演「ワイズメンのリーダーシップに期待するもの」50分ほどかけて「ワイズ読本」の内容に沿って話されました。かなり厳しいお話だったのですが、みんな励まされたと思います。その後部単位に分かれての各事業主任から事業方針説明があり、

講堂に集まって夕食懇親会、宿舎に戻って部単位の懇親会で一日目が終わりました。あずさ部の宴会は他部からの参加もあり盛り上がった結果朝4時近くまでとなりました。

8日は早朝ウォーキング朝食・聖日礼拝の後実務手続きなどの研修があり、閉会終了したのは12時半。アンケートの回収など片付けをしてから昼食。やっと落ち着いて帰途についたのはもう3時近くになっていました。2日間にわたる研修会の間、LT委員は休憩時間も飲み物の手配や次のプログラムの準備など走り回る忙しさで、私一人でもお役に立ててよかったと思います。

## 西条便り Vol. 132

東広島クラブ 佐々木集子さん

3月の例会は広島クラブと合同例会をもちました。やはり、人数がいると活気があります。会員増強も音頭だけになりそうです。メネットをメンにする方法が近道だと思いますが

今は20周年に向けての準備で一生懸命です。参加して下さる方々に少しでも、満足していただければと思っています。

## 今月の京都プリンスクラブ

今月は休載します

## あずさ部第三回評議会 & 甲府65周年記念例会

キャビネット

開催日：2015年5月9日(土)

◇あずさ部第三回評議会 13:00～

◇甲府クラブ65周年記念会 16:00～

会場：甲府市 岡島ローヤル会館

登録費：◇評議会 未定

◇甲府クラブ65周年記念会 3,000円

あずさ部第三回評議会と甲府クラブ65周年記念会の同時開催です。両方出席できる良いチャンスですので、お祝いを兼ねてぜひ出席しましょう。申し込みは会長まで。

## インビテーションキャンペーン

会員増強委員会

1月実績 なし

2月実績 第一例会 11名(学舎 8名、その他3名)

2月合計 11名 【累計】 30名

## 編集後記

最近読んだ一冊の本。秋月達郎著『海の翼—エルトゥールル号の奇跡—』PHP文芸文庫。序章、イラン=イラク戦争中のテヘラン。そして舞台は明治23年、和歌山県樫野崎の沖合。沈没したトルコ軍艦の島民による救助活動と、日本海軍による本国への送還。そして再びテヘラン。イラクによる航空機の無差別攻撃宣言の中、100年前の恩義を忘れないトルコ国民によるイラン在住日本人(日本政府も航空会社も見放した)の救出劇。航空機を日本人に譲り、自分たちは車列を組み陸路での母国への脱出。その後も続くトルコと日本の絆の物語。老いて涙腺が緩んだせいばかりではなく、勝手に出てくる涙。電車の中で困惑した。(Non.O)

## 山中湖センターだより

山中湖センター 天野訓宏さん

皆様には日頃よりご尽力を賜りまして、誠に感謝致しております。

東京では桜の満開の時期ですね。今年の山中湖は昨年より暖かく過ごしやすい日が続いております。

さて、山中湖センターですが、3月に小俣君の退職と星野の本部への移動がありました。新年度からはまた新たなメンバーを迎え、新規一転職員一同さらに邁進して行く所存です。

どうぞこれからも、よろしく願いいたします。

## YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

山手コミュニティーセンターは4月より新体制を迎えます。事務スタッフの小泉真由美さんがグランチャ東雲に異動となり、後任は同じくグランチャ東雲から宇垣圭子さんが着任いたします。どうぞよろしく願い致します。

今後の主な行事日程

・第24回チャリティーゴルフ大会

4月 9日 (総成カントリークラブ)

・会員大会 5月23日 (東陽町センター)

## 強調月間：LT

キャビネット

LTとは、リーダーシップ・トレーニング(Leadership Training)の略称です。どのような組織もその指導者の訓練を怠ると方向を誤り、継続性が失われ、活動が停滞します。ワイズメン運動についても例外ではありません。ワイズメンズクラブの全ての役職に就くに当たっては、十分な研修を受けて、任務の遂行に備えなくてはなりません。

リーダーシップを形成するのは、メンバーからの信頼であり、メンバーからの信頼を得るには、担当職務に要求される知識と経験が大切です。また、ワイズダムにおいては、誰もがリーダーになる可能性があり、すべてのメンバーに対しての研修が必要です。

東日本区では、毎年集合研修として次期部長・事業主任研修会、次期クラブ会長・部役員研修会を行っています。各部でも様々な研修会が行われており、また、各クラブでもクラブのニーズに合わせた研修会の開催が望めます。

先日水戸さんが参加された東新部のフレッシュワイズセミナーは格好のチャンスです。古手の参加もOKです。

研修会だけではなく、日常の例会やクラブの会合・行事などをLTの場として捉え、リーダーシップの涵養、発揮に務めてください。第一例会のニコニコ1分間スピーチは格好のLTの場ですので、話がちょうど1分間になるよう努力してみてください。